

2008年2月21日

各位

株式会社 トップカルチャー
(コード7640 東証1部)

代表者名 代表取締役社長 清水 秀雄

問合せ先 取締役副社長 宮原 務
兼 総務部長

T E L 0 2 5 - 2 3 2 - 0 0 0 8

<http://www.topculture.co.jp>

2008年10月期 第1四半期 決算の概況について

【2008年10月期 第1四半期 連結業績】(2007年11月1日～2008年1月31日)

売上高 前年比 102.8%

売上高 7,915 百万円 (前年比 102.8%)

経常利益 261 百万円 (前年比 59.2%)

四半期純利益 153 百万円 (前年比 61.0%)

当第1四半期は、既存店の売上高前年比は98.6%、全店で102.7%と好調であった前年とほぼ同水準の売上となりました。主要商品のうち、書籍は既存店前年比100.8%、レンタルは既存店前年比99.7%と堅調に推移いたしました。

●出店1店舗、既存店大幅増床1店舗を実施

2007年11月に青葉奈良店(横浜市・420坪)を出店し、グループ店舗数は63店舗となりました。当社は、エンターテイメント空間と時間を提供し、地域のお客様への情報発信・交換の場となるコミュニティ・ストアとしてお子様からご年配の方まで幅広い年代層にご利用いただいております。今後も関東郊外エリアにおいて店舗拡大を図り、グループ100店舗体制の早期実現を目指してまいります。また、地域ニーズへの対応として、既存店リニューアルによる売場刷新を積極的に行っております。当第1四半期は、新津店(新潟市)をこれまでの約2倍となる800坪に大幅増床いたしました。今期はこのほかに既存店の大幅増床を3店舗実施する予定でおります。

●前年比減益の主な要因

当第1四半期において、レンタルの仕入を戦略的に拡大したことが主な要因であります。この仕入拡大の先行投資は、第2四半期以降のレンタル売上の大幅伸長、売上総利益率の向上に寄与するものと見込んでおります。

●レンタル「シニア割引」スタート

当第1四半期より、60歳以上のお客様を対象にレンタルの「シニア割引」を開始いたしました。これは、中高年代のお客様により充実したエンターテイメントライフを送っていただくこと、そして核家族化が進む現代において、お孫さんと一緒に蔦屋書店に遊びに行けるようなライフスタイルを提案することが当社の社会的使命であると考え、実施しているものであります。

なお、連結業績見通しは、売上高310億円(前年比110.1%)、経常利益13億円(同115.8%)、当期純利益7億47百万円(同122.5%)、1株当たり配当金15円00銭(5円00銭増配)を見込んでおり、従来公表に変更はございません。

TOP CULTURE Co.,Ltd.

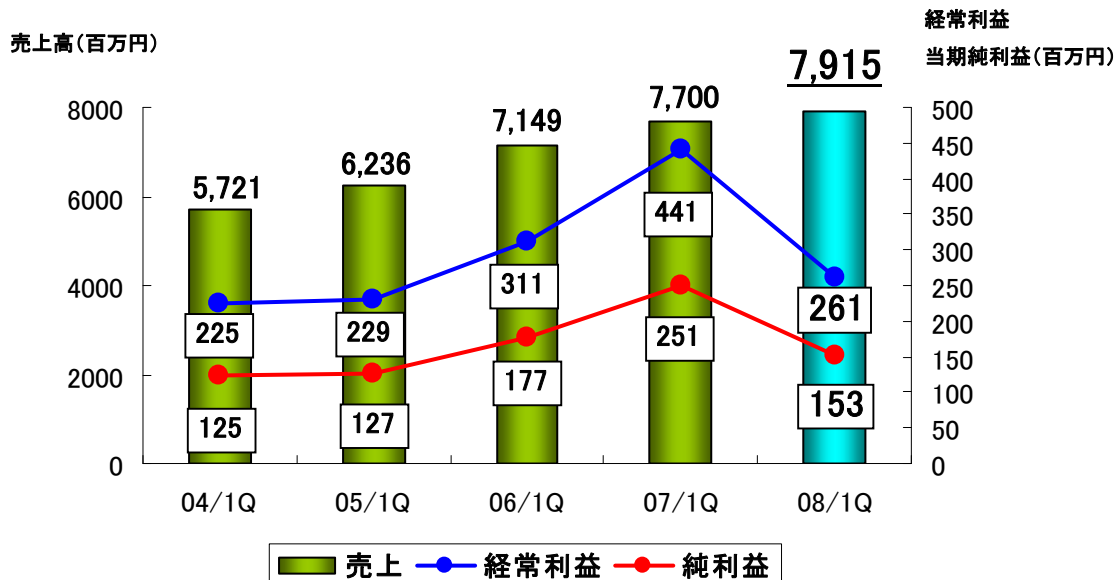
1. 連結業績の概要

- ・ 主要部門である書籍の売上が堅調に推移し、業績を下支えいたしました。
- ・ 関東郊外エリアにおいて大型店1店を出店しました。また、既存店1店舗を売場面積約2倍と大幅に増床いたしました。

【連結サマリー】

(百万円)

	2007年10月期 第1四半期		2008年10月期 第1四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	7,700	100.0	7,915	100.0	102.8
売上総利益	2,295	29.8	2,292	29.0	99.9
営業利益	433	5.6	261	3.3	60.3
経常利益	441	5.7	261	3.3	59.2
四半期純利益	251	3.3	153	1.9	61.0
EPS(円)	20.16		12.28		60.9



【単体サマリー】

(百万円)

	2007年10月期 第1四半期		2008年10月期 第1四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	7,384	100.0	7,587	100.0	102.7
売上総利益	2,243	30.4	2,212	29.2	98.6
営業利益	430	5.8	248	3.3	57.7
経常利益	438	5.9	268	3.5	61.3
四半期純利益	250	3.4	150	2.0	60.3
EPS(円)	20.03		12.07		60.3

2. 商品別売上高の推移

- ・ 既存店の売上高前年比は書籍は 100.8%、レンタルは 99.7%と堅調に推移し、好調であった昨年とほぼ同水準の売上となりました。

	07年10月期	08年10月期	増減		既存店
	1Q実績	1Q実績	増減額	前年比	前年比
書籍	2,877	3,014	137	104.8%	100.8%
レンタル	1,488	1,551	62	104.2%	99.7%
販売用CD	1,041	1,078	37	103.6%	99.8%
販売用DVD	674	626	△48	92.8%	89.5%
文具	719	710	△8	98.8%	96.1%
その他	582	605	22		
蔦屋書店計	7,384	7,587	202	102.7%	98.6%
トップボックス計	315	295	△20	93.5%	
グランセナ計		32			
合計[連結]	7,700	7,915	215	102.8%	

3. 出店・増床状況

- ・ 2007年11月2日(金)に青葉奈良店(横浜市青葉区・420坪)をオープンいたしました。当社グループ店舗数は63店舗となりました。
- ・ 2007年12月14日(金)に蔦屋書店新津店を売場面積約2倍の800坪に増床オープンいたしました。

グループ合計店舗数 63 店舗 延床面積合計 28,909 坪

(1店当たり 平均 458 坪)

【2008年10月期出店・増床計画】

店名		場所	面積	開店日
出店	青葉奈良店	神奈川県	420坪	2007/11/2
	関東郊外新店	神奈川県	450坪	2008/6(予定)
	関東郊外新店	東京都	450坪	2008/10(予定)
	関東郊外新店	東京都	450坪	2008/10(予定)

店名		場所	面積	開店日
増床	蔦屋書店新津店	420坪⇒ 800坪		2007/12/14
	蔦屋書店新通店	350坪⇒ 450坪		2008/3(予定)
	蔦屋書店伊勢崎安堀店	350坪⇒ 800坪		2008/4(予定)
	蔦屋書店長野地区	450坪⇒ 750坪		2008/10(予定)

4. 2008年10月期の業績予想

- ・ 2008年10月期の出店は11月2日(金)にオープンした蔦屋書店青葉奈良店を含め、4店～8店(うち4店を計画折込済)を予定しております。いずれも関東郊外エリアでのドミナント形成を図るものであります。
- ・ 既存店においては増床を含めた店舗改装を行うとともに、商品提案力の向上及び商品構成の刷新に取組み、売上総利益率の安定的成長を目指します。また、利益については継続した原価率改善とコスト効率の見直しにより、大幅な利益率向上を図ってまいります。

【連結】

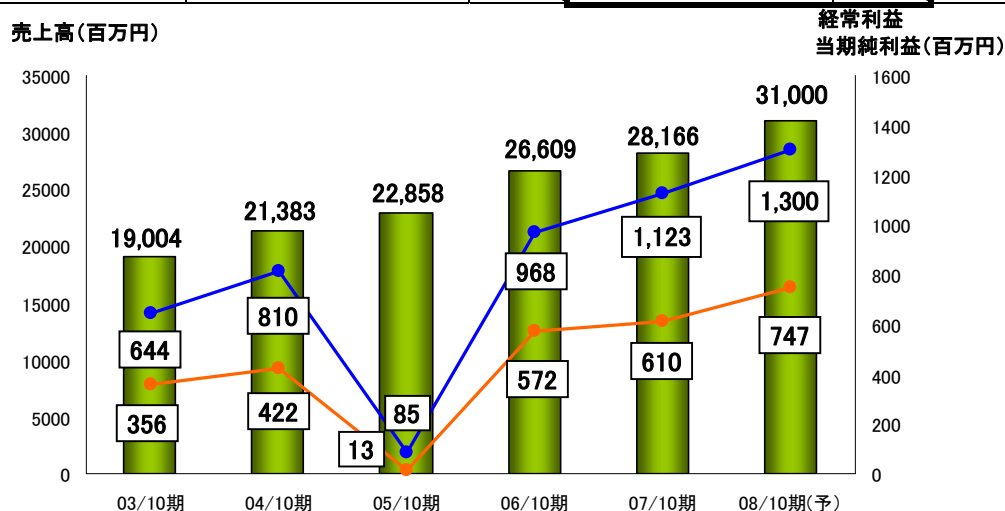
(百万円)

	07年10月期		08年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	28,166	100.0	31,000	100.0	110.1%
経常利益	1,123	3.9	1,300	4.2	115.8%
当期純利益	610	2.1	747	2.4	122.5%
EPS(円)	48.85		59.85		122.5%

【単体】

(百万円)

	07年10月期		08年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	27,118	100.0	30,000	100.0	110.6%
経常利益	1,117	4.1	1,310	4.4	117.2%
当期純利益	600	2.2	740	2.5	123.2%
EPS(円)	48.10		59.24		123.2%



【株式会社トップカルチャー 会社概要】

- ・ 資本金: 20億737万円
- ・ 従業員数 280名(他パート・アルバイト 549名)
- ・ 事業内容: 書籍・CD・DVD・文具等の販売、CD・DVDのレンタル業務を行う大型複合店舗の運営を通じた「日常的エンターテインメント」の提供
- ・ 連結子会社: 株式会社トップブックス(中古書籍・CD・ゲーム等の売買、店舗名「古本市場トップブックス」)
株式会社グランセナフットボールクラブ(サッカークラブ及びサッカースクールの運営並びにスポーツ施設の企画・運営)

【この資料に関するお問い合わせ先】 株式会社トップカルチャー 取締役副社長兼総務部長 宮原 務
TEL: 025(232)0008 FAX: 025(265)1260 <http://www.topculture.co.jp>

※本資料は、現時点で得られた情報に基づいて算出しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

TOP CULTURE Co.,Ltd.